

みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

スマホで見れる!!

名張育成会のソーシャルメディアです

ホームページの  
[SNSまとめページ]から  
気になる記事をチェック!  
このアイコンをクリックしてね!▶



# ソフトボールの思い出全国に!

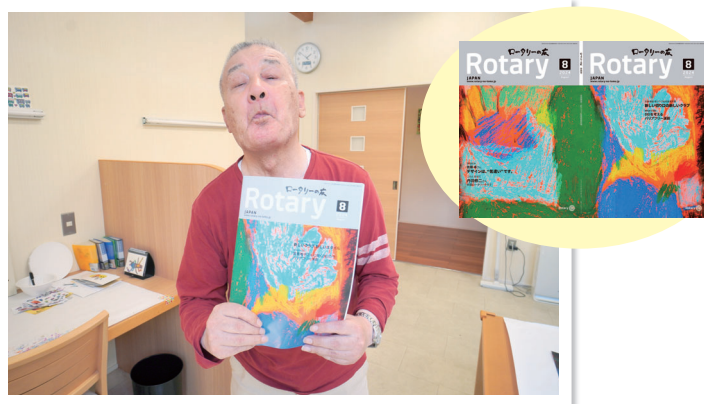
思い出を描いた創作アートが、ロータリークラブ機関誌の表紙を飾りました!

アトリエ彩<sup>(\*)</sup>で創作活動に取り組んでいる森北卓次(たかつぐ・71歳)さんが若い頃に夢中になっていたソフトボール。その思い出を描いた創作アートが、全国の会員約84000人などに届けられるロータリークラブの機関誌「ロータリーの友」<sup>(注)</sup> 8月号の表紙を飾りました。(注)発行は85,000部

今はグループホームで暮らす森北さんが名張育成会成美<sup>(\*)</sup>で暮らしていた約20年前、その頃には成美<sup>(\*)</sup>と成峯<sup>(\*)</sup>合同のソフトボールチームがあり、地域の方たちと交流試合を行っていたほど活発に活動をしていました。森北さんは主にピッチャーとして活躍。仲間と共にボールを追いかけ汗を流していたことは、今でも一番の思い出だといいます。



お話を伺っていると、当時の活躍振りをジェスチャーで教えてくれました!



その思い出が心に映るまま余すことなく投影している作品は、まるで画用紙全体がグラウンドのよう。また素直な気持ちで力強く描かれた野球用具の数々は生き生きとし、当時の活気と賑わいが私たちにも伝わってくるようです。



画用紙38×54cm、クレヨン

令和4年4月に行った名張育成会の事業再編を機にアトリエ彩<sup>(\*)</sup>へ移り、創作活動を始めことにした森北さん。以前は軽作業が中心で作業の手も止まりがちでしたが、創作活動を始めからは日ごとに集中力が増し、表情も引き締まってきたといいます。今ではこだわりのない描写で思いのままに表現するアート作家として、個性的な作品に取り組んでいます。



さてロータリークラブとは、自分の職業を通じ、社会貢献を目指す奉仕団体<sup>(\*)</sup>で、日本に約2,200、世界に約37,000<sup>(\*)</sup>のロータリークラブが活動しています。今回は、機関誌「ロータリーの友」の表紙デザインを広く募集していると聞きつけた職員の勧めによってアトリエ彩から数点応募したところ、森北さんの作品が全国の中から見事採用されました。

(\*4)参考<https://tokyo-east-rc.jp/rotary/> (\*5)参考<https://tokyo-rc.gr.jp/index.html>



目次ページに「思い出が鮮明な分、モチーフになっているバットやボール、そしてグローブたちがまるで踊るようで、熱気と共に伝わってきます。」と、寸評が記されています。

裏面に続く(取材:広報委員会)



◀◀ アトリエ彩の紹介や森北さんの他の作品を、ブログMIRAiなどで紹介しています  
<https://ikuseienmirai.hatenablog.com/>

(\*1)アトリエ彩:日本でもめずらしい障害者アートの拠点として、本格的に創作活動ができる環境を整え、アーティストの個性が活きる支援を行っています。  
(\*2)成美:1979年(昭和54年)に開所した入所生活支援施設。(\*3)成峯:1961年(昭和36年)に開所した入所生活支援施設。

# 名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から  
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

くらしサポート ゆっくり

## グループホームでの日常 #15 T氏の場合



旧町で生まれ育った彼女。生家を離れて、数十年が経ち、姉妹はそれぞれ別の町へ…。今は長女としてのプライドで、墓守をされてます。

「天国にいるお母さんやお父さん、ご先祖様のことを思って般若心経を書き写してんねん。」西国三十三所勤行次第を押さえている左手から脈打つ力強

さが伝わってきます。

縁起物などが所狭しと並べられ、「このビスケットは私がちっちゃい頃にお母さんがいつも買ってくれてた思い出のお菓子やねん。せやからお供えしてんねん。」と微笑みながら話してくれました。そんな、彼女の想いを汲み取り、「ゆっくり」では、春とお盆に職員付き添いでお墓参りをさせて頂いています。「来年は、ぜひ一緒にお墓参りに行きましょう!!」と心に誓う私でした。

伊賀地域生活支援拠点オルハナ

## 「よーい!そーれ!」祇園祭・本まつり



大山田にある植木神社の祇園祭\*で「山車の引手にぜひ」とお声がけをいただき、一緒に参加しました。「宵宮」に続いて「本まつり」で山車を引いていると、沿道はすごい人。「こんにちは。ありがとう。」と挨拶してくれます。途中「花笠」とすれ違い、「東町、中町、西町」の山車が山田保育園で揃うと、折り返して植木神社まで引っ張ります。そして「お神輿」が神社境内に戻られると、植木神社祇園祭はお開きに。

お囃子の練習から一緒に山車を引っ張るなど、大山田の歴史と人の暖かさに触れる、ほんとうに

貴重な経験をいただきました。東町の皆さん、ありがとうございました!

(\*三重県指定無形民俗文化財、伊賀地域の祇園祭の典型ともいえる祭礼行事です。)

いが児童発達支援センター〈れいあろは〉

## 夏まつりイベント



8月に夏まつりイベントを行ないました。「おまつりするの?」とワクワクした様子で来てくれる子もいれば、普段と違う時間や様子のため、緊張で泣いて来てくれる子もいました(^^)「三角新聞、ボールプール、アスレチック、ひんやり部屋」などで遊んだあとはお楽しみ、「おやつ時間」(^^)。そして、今年は帰る前にもう1つお楽しみが!お祭りの音楽を流し、職員手作りの【屋台でお菓子引き】。お菓子が取れて「やったー!」「上手に取れたね!」と喜び合いました!

泣いて来てくれたお友だちも、最後は笑顔で帰ってくれて一安心(^^)れいあろはのみんなにとって素敵な夏の思い出の1つになっていたらいいなと思います!

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。



▲ブログはコチラ

## (表面より) 作品になった心の原風景

森北さんが描いた作品の原風景を紹介します。



「打たれても、ええねん。みんなが守ってくれんねん。」仲間を信頼する、味わい深い言葉。チームワークの良さが伺えますね!



成美<sup>(2)</sup>成峯<sup>(3)</sup>合同のソフトボールチーム。帽子にイニシャルの「N」、そしてライトブルーのユニフォームには「育成園」の文字が誇らしい。

パラアートとも呼ばれる、障害者の個性が活きるアート。何にも捕らわれない自由な表現は心の投影であり、観る人の心を忖度しない素直な描写は私たちを感動に導きます。アトリエ彩<sup>(\*)</sup>では、これからも広がる可能性や作者の個性に寄り添ってまいります。

(\*1,\*2,\*3)表面参照

写真はアルバムを直接撮影したものです。詳しくはMiRAiレポートブログをご覧ください。▶

